

生涯学習 だより

生涯学習課 ☎27-4181

あのみちこのまち

赤泊正月マラソン大会

1月2日、赤泊地区で「赤泊正月マラソン大会」が開催されました。

小学生対象の2キロコースから3キロコース、5キロコースに市内各地から100名の参加があり大変盛り上がりしました。参加者は新年の走り初めをしたり、親子で一緒に走りゴールを目指したりと、参加者ごとにマラソンを楽しんでいました。

当日はコース上に少し雪があり、寒いコンディションでしたが参加者全員が完走し、走り初めを楽しんでいました。



立志元服式（新穂）

1月8日、トキのむら元気館を会場に立志元服式が開催されました。立志元服式は、武士の元服になぞらえ、義務教育が終わる新穂中学校3年生を対象として、その節目を祝うとともに、生徒が将来の目標を考え、決意を表明する式典です。

全日本剣道連盟の方による居合道の演武や、佐渡高等学校野球部監督、深井浩司さんによる「人間力・佐渡から甲子園へ」と題した記念講演が行われました。講演ではこれまでの野球指導に基づいた人間力についてお話があり、「チームには個人の技術だけでなく、仲間の信頼感、感謝の気持ちが必要である。単に結果を求めるだけでなく、目標に向かって努力を続けることが重要だ」と生徒を励ましました。

立志発表には、代表4名が将来の夢や目標を発表しました。和田浩樹さんは昨年、佐渡高等学校野球部が新潟大会で準優勝した活躍を観て、高校に進学してからも野球を続け、甲子園を目指すよいう頑張りたいと志を述べました。



BOOK

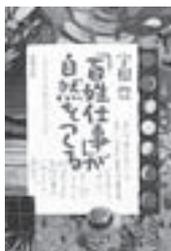
図書館だより

中央図書館 ☎63-2800

《2009年 おすすめの図書をご紹介します》

『百姓仕事』が自然をつくる』 宇根豊著 築地書館

田んぼ、里山、赤とんぼ…美しい日本の風景は、農業が生産してきたのです。生き物のにぎわいと結ばれてきた百姓仕事の心地よさと面白さを語りつくすニッポン農業再生宣言の本です。トキと暮らす郷づくりを提唱し、環境豊かな佐渡にすむ私たちは、この本を全員の人に読んでいただきたいと感じます。



『良い死』立岩真也著 筑摩書房

どうせ死ぬなら「自然に」死にたい。自分の死は自分で決めたい。ほんとに？ あらゆる生を否定しない立場から、この問題を深く、広く考えます。著者の立岩氏は、1960年佐渡生まれ。現在立命館大学大学院教授。『私的所有論』『自由の平等』『弱くある自由へー自己決定・介護・生死の技術』『希望について』など多数の著作があります。



『図書館が教えてくれた発想法』高田高史著 柏書房

図書館には森羅万象あらゆることに関する本が並べられています。使いこなすためのコツ、検索に役立つ発想法を第一線で働く図書館司書が教えます。

『のぼうの城』 和田竜著 小学館

時は乱世。天下統一を目指す秀吉の軍勢が唯一落とせない城があった。城主・成田長親は領民から「のぼう様」と呼ばれ泰然としている男だった。人間臭い魅力で衆人を惹きつける英傑像を描いた作品です。

絵本作家長谷川義史さんが佐渡にやってきます。

日時 3月14日(土)
午後1時30分～3時
場所 トキのむら元気館
入場料 大人300円 子ども無料
主催 佐渡子どもと絵本をつなぐ連絡会

◆お問い合わせ
中央図書館 ☎63-2800

長谷川義史さんのプロフィール
1961年大阪生まれ。絵本作家・イラストレーター。主な作品に「おじいちゃんのおじいちゃん」「いいからいいから」「うえへまいます」など。